

安全就業ニュース

知立市シルバー人材センター
安全適正就業委員長 青山幸夫

1. 全国シルバー人材センター重篤事故報告 令和 8 年 7 月分報告

7 月は、就業中 2 件、就業途上 1 件の事故報告がありました。

No.	性別・年齢	仕事の内容	事故の状況
1	男性 77 歳	就業中 (入院)	梅の木の伐採作業で、伐採後の木を片付けてから作業を行なう予定のところ、当該会員が自分から枝に登って上部の伐採を始めたので、一緒に作業していた会員が注意をしたが、会員は作業を続けた。その後休憩の合図をした際も会員は作業を続け、その後まもなく木の上部に会員がいないことに気付き、下を見たら落下していた。安全帽着用。
2	男性 79 歳	就業中 (死亡)	剪定用の器具、剪定用の三脚を軽トラックから降ろして、三脚を設置し、ヘッジトリマーで作業を開始して間もなく三脚の下から 3 段目の梯桟の上で、両手で器具を握っていたためバランスを崩し転落し、右肩と側頭部を地面に打ち付け入院後、亡くなられた。安全帽未着用。
3	男性 80 歳	途上 (入院)	自転車に乗り、就業先へ向かっていたところバイクと接触して転倒、サドルで胸を強打し、その際、病院に行くよう促したが「大丈夫」と答え、就業先に向かった。その後、胸にシップを貼り過ごしていたが、体調が悪化して病院に向かった際に気を失う。肋骨骨折により胸部内で出血、横隔膜に溜まった血液が心肺を圧迫し、脳に酸素と血液が送られなくなり、意識不明となった。蘇生はしたものの、心肺停止の時間が長く続いたため、脳死状態となった。

2. 愛知県シルバー人材センター事故報告（一部抜粋） 令和 8 年 8 月分報告

No.	性別・年齢	仕事の内容	事故の状況
1	男性 78 歳	就業中 (賠償)	18 人で駐車場で防護ネットを使用しながらチップソーで草刈作業中、飛び石を発生させ駐車車両の運転席側後部ガラスを破損させた。

3. 知立市シルバー人材センター事故報告 令和 8 年 7 月、8 月分報告

7 月は、事故はありませんでした。

8 月は、就業中の事故報告が 1 件ありました。

No.	性別・年齢	仕事の内容	事故の状況
1	男性 65 歳	就業中 (賠償)	天気は晴れ。6 名で個人宅の草刈作業中、誤って水道の配管を破損させた。

〈全国統一 安全就業スローガン〉「声掛けは 仲間を守る いのち綱」